

◆ 会員卓話 ◆ ブナの木について ◆

戸栗力君

最近団地では夫婦生活がうまくゆかないと言ひ声を受けます。その原因の大きなものに、コンクリート造りで木の材料が少ないことから来るストレスがあるそうです。木質材料を多く使えば大丈夫とのこと、今日は道南に最も多いブナの木についてお話ししたいと思います。(サンプル提示)

1. ブナは温帯の代表的樹種で、南は四国、九州から北は北海道まで、広く全国に自生しています。蓄積量も天然林中最高です。黒松内の歌才にブナ北限の自生林があり、これは天然記念物です。又七飯の藤城にドイツ人ガルトネルが明治2~3年に植えた人工のブナ林があり、日本では非常に珍しい貴重なものです。
2. ブナは気候の関係で、南方には高山にしかなく(従つて面積は小)、北に來るに従ひ低い所に生えます。秋田では海拔800m位が最適で、北海道では海拔0mからあります。低い所程地味が肥えて土地が広がるので、全国ブナ蓄積の約75%は東北、北海道(道南)にあります。道南天然林の70%はブナ林で、従つて道南産の枕木、フローリング、リンゴ箱から薪、木炭に至るまで、その大半はブナ材と考へてよいのです。
3. ブナ材は以上のように全国的に分布する身近な木ですが、従来は(1)腐れ易く虫害も受け易い、(2)硬くて細工が難しく狂い易い、(3)道南と東北の一部を除いては高峻の地にあるため出材困難である。等の理由で、その利用開発は極く一部に限られていました。従つて舟、櫓、舟底等の船材、ゆしべら、鉄の柄、下駄の歯等に費消されるに過ぎなかつたのが、10年前から枕木、フローリングの普及を中心とした加工技術の進歩により、高級合格、家具からピアノ等、あらゆる分野で使用されるようになりました。
4. 然し林野庁の林地生産力増強のための拡大増林方針——つまり生長速、生産力の劣るブナ等広葉樹類は伐つて、生長度が大きく価値の高いトドマツ、カラマツ等の針葉樹を植林する方針により、年々ブナ材は減少しています。今から30年後には道南から出材するものは針葉樹が80%にもなる予定で、ブナ材は、年々貴重材になつてゆくでしょう。

◆ 出席報告

1. 本日 会員29名 出席21名
2. 前回の確定出席率 93.10%
会員29名 当日出席24名 メークアップ3名
3. 他クラブの状況 函館97.22% 函館東94.67%
4. 8月の平均出席率 76.41%
函館92.59% 函館東98.67%



通算才132号

066~1967-9-21

函館北ロータリークラブ

第116回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.3.0~13.3.0

本日のプログラム 映画 "自由とモラル" NHK提供

- ◆ 司会 飯田会長 ◆ 斉唱 手に手つないで
- ◆ ビジター 菊地忠義君(森タクシー業)
納代勝一郎君他4名(函館) 西村重蔵君他10名(函館東)
- ◆ 会長報告
1. 18日のシャロレー牧場の家族会は、天候も幸いして大変楽しい一日で、当クラブは46名も参加しました。森クラブに厚くお礼申し上げます。
 2. 成田副会長御寄贈によるエバンス会長の「今年度の目標」を掲示します。
 3. 「ガバナー月信」で世界社会奉仕を強調しております。又ニュージータン F.Wakatsane R.C.より青少年交換計画の案内がありました。
- ◆ 幹事報告
1. 例会終了後理事会を行いません。各委員長さんもお残り願います。
 2. 「ガバナー月信」の8月の出席報告によると、当クラブは地区61クラブ中57位(76.41%)でした。皆さん大いに頑張つて下さい。
 3. 釧路の年次大会に、副会長さんの代りにどなたか御出席下さい。
- ◆ 会員卓話 "天皇と植樹祭" 新善次君
- 戦後17回目の植樹祭は、天皇皇后両陛下をお迎えして、去る4月愛媛県松山市郊外の久谷村久保という石鎚山腹で行なわれました。主催は国土緑化推進委員会で衆議院議長が会長となり、各都道府県が回り持ちで植栽地を設け、知事が幹事役を務めます。私は5年前の支笏湖畔と今回と、2回参列しました。
- 私はこのお祭は世界一だと思つています。ソ連のクレムリン宮前赤の広場の祭典は基だ物騒で表現がケバケバしいだけで、人類を楽しませる何物もありません。又アメリカ大統領の就任宣誓式、イギリス国王の戴冠式も世界一かも知れません。これに対してわが日本の植樹祭は、戦後悲惨なまでに荒蕪した国土の緑化に着手し、日本国民の長所である勤労と英和を傾け、天皇を中心に和合一致した。その功德が誠に広大無辺な行事なのであります。
- お祭は前以て御挨拶も植穴も用意された会場に会衆が立ち並び、両陛下をお迎えして会長、幹事の式辞、功勞者の表彰があり、それから両陛下がお手植にな



通算才133号

1966~1967-9-28

函館北ロータリークラブ

第117回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

り、大衆歓呼のお見送りの中を御退場になります。次いで数万の参加者は一斉に各々苗木2、3本宛を植付けます。この作業は10分位で終わりますが、そのあとには10ha余の美事な人工造林が忽然として現出します。参会者は記念品を頂戴し、バスに乗って嬉々として退去するのです。

天皇がこの行幸をお楽しみになられる御有様は、竜門社雑誌「青淵」9月号に入江侍従長が「宮廷よもやま話」と題してお述べになつております。竜門社とは渋沢栄一翁の功徳、徳行を追慕する人々の結社であります。

「戦前は陛下は万々でお手植えをなさいましたが、その木が枯れると管理人が処罰されたりして、私が木を植えると人々を苦しめるからとのことでやめられました。23年から植樹行軍が始まつて大変お喜びになり、毎年お出かけになつて、苗木を植えたり、種子をまいたりしていらつしやいます。」

「昨年は鳥取県で植樹祭があり、皆生温泉にお泊りになりました。陛下は6階なので見晴らしのよい8階に御案内しようと思い、エレベーターに陛下をお乗せし8を押しました。ところがエレベーターが下つて1階までおりてしまいました。ドアがあくと土地の若者達が待つている。思ひに、私が8を押す直前に下から呼んだわけで、エレベーターは正直だから先に登録したほうの言うことをきくのです。それで陛下は大変お喜びになりました。」

「そういうような、結局あんにお喜びになるのは、あんまりふたん順調にうまくゆきすぎるから面白くないのです。我々みたいに、タクシーがなにかから歩いたらやつたというようなことがないわけです。」 —以上朗読の一部—

ここで私は支笏湖畔モーラップの植樹祭の一コマを思い出します。式辞が済んで表彰者の名が読み上げられる直前、一陣の風が吹いて陛下の卓上の御帽子を飛ばしてしまいました。お付きが追いかける帽子が逃げる。厳肅な雰囲気の中で何とも言えぬお愛嬌でした。会場に笑声がおこり、御前をも憚らず爆笑となつてしまい、会場に和やかな空気が充ち溢れたのでした。

更に私はモーラップの帰りに札幌からの車中で、隣席の総理府技官で宮内庁の御料車を宰配している方に、自動車を通じての宮廷よもやま話を拝聴することができました。この技官は非常に話し好きで、別れ際に、上京したら是非宮内庁に寄つてみなさいとのことで名刺をいただきました。これで私も、昔風に申せば御城内の仲間部屋までは這入る資格がついたと思つております。

出席報告

先週の確定出席率 89.66% (会員数29名 当日出席21名)
マークアップ 5名 青柳君(札幌) 山形君(札幌)
今宮君、飯田貢一君、水上君(以上函館東)
出席者 3名 深瀬君 塚田君 石橋君

本日のプログラム

卓話 ◇ 欧米旅行の感想 ◇ ゲスト 橋本清次郎氏

- 司会 遠藤理事 斉唱 我等の生業
- ビジター 本間祐介君(酒田 美術館) 米村喜男衛君(網走 博物館)
森本正義君(留萌 食料品販売)
棟万忠君他7名(函館) 西村敏雄君他11名(函館東)

遠藤理事挨拶

会長、副会長さん共御欠席なので代理をつとめさせていただきます。颱風の襲来で各地に被害があり、御同情にたえません。亡くなつた方もあり、哀悼の意を表したいと思ひます。

幹事報告

1. 釧路の地区大会に出席し、昨日帰函しました。非常に綿密に準備された大会で感心しました。参加者は福岡、岡山をはじめ全国各地から1300余名が集まり盛況でした。函館クラブは17名、東クラブ7名、江差5名、当クラブは私1人だけでした。私は部門別協議会にはクラブ奉仕のA(出席、親睦及びプログラム)に出席しましたが、詳細はアツセンブリーで報告したいと思ひます。なお懇親会の挨拶は出席不良の罰として江差クラブに命ぜられました。私が辞退し、私に御鉢がまわつて来て困りましたが、東クラブ森岡さんにお願ひしてピンチを逃れた一幕もありました。

2. 塩釜東R.C: 8月17日R.I.に正式加盟

映画 ◇ 自由とモラル(世界の青年才5集) ◇ NHK提供

才2次世界大戦後、日本にも「自由」が与えられたが、逆に「モラル」が低下して青少年の非行が増加した。学生の犯罪もふえ、犯罪の集団化も目立つて来ている。欧米も然りで、全世界の大きな社会問題になつて来ている。これは戦後良き人間関係が失われたこと、青少年の成育の早さ(肉体と精神のアンバランス)、マスコミの影響等によるものであろう。

諸外国では如何なる対策をたてているか。NHKでは取材のため各地を回つてみた。先ずアメリカでは市警察の中に青少年部が設けられ、パトロール、補